



国際ロータリー第 2680 地区
2023 年 地区研修・協議会



**CREATE HOPE
in the WORLD**

日 時 : 2023 年 4 月 29 日(土・祝)10:30~16:30
場 所 : 神戸ポートピアホテル・ポートピアホール
ホストクラブ : 三田ロータリークラブ

目 次

2023年地区研修・協議会 プログラム	1
全体会議 講師紹介	2
2023年地区研修・協議会 部門別分科会一覧表	3
2023-24年度 RI 第 2680 地区 地区活動方針	4
地区関係名簿	10
部門別分科会参加者名簿	12
RI 会長エレクト資料	16
2023-24年度国際協議会報告	20
ジョン・ヒューコ事務総長の講演(2023)の要旨	28
ロータリー賞の目標と達成方法に関する説明	32
メモ用紙	36
2023年地区研修・協議会 会場案内 & 出席証明書	裏表紙

2023 年 地区研修・協議会 プログラム

日時:2023 年 4 月 29 日(土・祝)10:30～
 場所:神戸ポートピアホテル・ポートピアホール
 全体会議司会:若林 学(三田)

10:30	開会点鐘	ガバナーエレクト	安行 英文
	「君が代」「奉仕の理想」斉唱	ソングリーダー	松原 弘幸
	開会挨拶並びに地区役員紹介	ガバナーエレクト	安行 英文
	挨拶	ロータリー財団管理委員 元 RI 理事	三木 明
	挨拶	ガバナー	阪上 栄樹
11:00	地区研修・協議会によせて	次期地区研修リーダー	丸尾 研一
11:15	RI 会長エレクトテーマと地区活動方針	ガバナーエレクト	安行 英文

❖❖❖昼食・休憩(大輪田の間)❖❖❖

13:00	講演「国際ロータリーとロータリー財団」	ロータリー財団管理委員 元 RI 理事	三木 明
	講演「地区の戦略計画」	ガバナーエレクト ガバナーノミニー ガバナーノミニー・デジグネート	安行 英文 矢坂 誠徳 城 守
	講演「ロータリーをデザインしよう」	パストガバナー	矢野 宗司
	講演「ロータリー活動における 危機管理について」	危機管理委員会 委員長	黒田 建一
	所感	ガバナー	阪上 栄樹
	閉会挨拶	ガバナーノミニー	矢坂 誠徳
	閉会点鐘	ガバナーエレクト	安行 英文

移動・休憩

15:00	部門別分科会へ 「会長部門」「幹事部門」「クラブ管理運営部門」「職業奉仕部門」 「会員維持増強部門」「青少年奉仕部門」「社会奉仕部門」 「国際奉仕部門」「ロータリー財団部門」「米山記念奨学部門」		
16:30	部門別分科会 閉会		



講演「国際ロータリーとロータリー財団」

三木 明

(姫路ロータリークラブ)

ロータリー財団管理委員／元 RI 理事

講演「ロータリーをデザインしよう」

矢野 宗司

(加古川中央ロータリークラブ)

パストガバナー



講演「ロータリー活動における危機管理について」

黒田 建一

(西宮イブニングロータリークラブ)

危機管理委員会 委員長



2023年 地区研修・協議会 部門別分科会一覧表

※敬称略

部門	会場	カウンセラー	リーダー	副リーダー		SAA
会 長	偕楽① (本館B1F)	阪上 栄樹 (宝塚)	安行 英文 (三田)	矢野 宗司 (加古川中央)	高瀬 英夫 (西脇)	今垣 均 (三田)
				矢坂 誠徳 (神戸西)	城 守 (姫路)	
				勇 正一郎 (尼崎東)	橋本 雅彦 (姫路東)	
				太田 叶子 (尼崎東)	矢野 義之 (三田)	
				飯田 健一 (神戸南)		
幹 事	和楽 (本館B1F)	丸尾 研一 (神戸西神)	若林 学 (三田)	古川 彰治 (宝塚)	山口 幸 (神戸西)	松原 弘幸 (三田)
				吉井 久美子 (HYOGO REC)		
クラブ管理運営	布引・北野 (本館B1F)		天羽 公夫 (甲子園)	二宮 明彦 (甲子園)	山本 裕計 (神戸東)	西上 俊彦 (三田)
				林 知宏 (加古川平成)	寺尾 秀治 (甲子園)	
職業奉仕	偕楽② (本館B1F)	安平 和彦 (姫路)	大内 晋二 (神戸須磨)	富田 博重 (柏原)	不動 正章 (洲本)	柴田 茂徳 (三田)
				遠藤玄一郎 (豊岡)		
会員維持増強	偕楽③ (本館B1F)		梅原 可奈子 (西宮イブニング)	橋本 雅彦 (姫路東)		道遊 康浩 (三田)
青少年奉仕	サファイア (南館B1F)		黒田 建一 (西宮イブニング)	田中 賢一 (伊丹)	舟元 美智子 (神戸東灘)	藤田 信樹 (三田)
				白井 務子 (姫路東)	贄田 肇 (宝塚)	
				北川 博崇 (川西)	小倉 克輝 (姫路東)	
				山本 竜輝 (神戸RAC)	永松 潔和 (神戸)	
				奥田 裕 (神戸モーニング)	前田 隆則 (伊丹)	
社会奉仕	トパーズ (南館B1F)		喜多 美雄 (加古川中央)	岩井 秀樹 (伊丹)	小坂 圭一 (尼崎東)	油谷 良太 (三田)
				田中 正喜 (尼崎東)	池信 秀明 (伊丹)	
				飯尾 雅人 (小野加東)		
国際奉仕	エメラルド (南館B1F)		徳梅 明彦 (あわじ中央)	有川 裕之 (姫路南)	中井 章詞 (神戸東)	入江 智美 (三田)
				鎌谷 正弘 (姫路)		
ロータリー財団	生田 (本館B1F)		吉岡 博忠 (伊丹)	秦 紳一郎 (洲本)	城 守 (姫路)	矢野 義之 (三田)
				上野 貴志 (伊丹)	松井 照男 (神戸東)	
				宮岡 督修 (小野加東)	喜多 美雄 (加古川中央)	
米山記念奨学	ダイヤモンド (南館B1F)		竹内 博 (西宮)	三宅 康雄 (芦屋)	北川 博崇 (川西)	山本 信勝 (三田)
				永松 潔和 (神戸)	前田 靖文 (神戸ベイ)	

2023-24 年度 RI 第 2680 地区 地区活動方針

ガバナーの行動指針



“Act with Integrity

Serve with Love

Work for Peace”

真心の行動、慈愛の奉仕、平和に貢献

地区運営方針

地区目標

- ◆ 私たちの旅路・・・希望を伝えよう。ロータリー活動のあらゆる方面から。
- ◆ 会員としての経験を活かそう・・・経験を活かして協力の機会を見つけ、計画を立てて成果を上げよう。
- ◆ 奉仕のインパクト・・・長期的で持続的なニーズを掘り起こし、成果を測定し、将来の人材を育てよう。
- ◆ 地区における DEI の理解と実践の継続・・・私たちの文化にしよう。
- ◆ 私たちはロータリー・・・ロータリーのストーリーを語ろう。
- ◆ 変化を導く・・・Be(どうあるべきか)、Know(自分の強みを知っているか)、Do(何をすべきか)を使い変化に対応しよう。

重点目標

全てのロータリー活動が、「輝く」ようになることに重点をおく。

- ◆ DEI (Diversity, Equity, Inclusion/多様性、公平さ、インクルージョン) は私たちそのものを映し出す文化とし「社会的スティグマの解消」を目指し、地区及びすべてのクラブに行動を促す。
- ◆ 会員増強を推進し、新しいタイプのクラブの運営の仕方を創出する。
- ◆ 「平和」を基礎に活動する。
- ◆ メンタル・ヘルスを考え、ロータリアン、地域社会のあらゆる人々に寄り添うロータリーを目指す。

ガバナー補佐の活動

- ◆ RI 会長の方針の理解と新しい地区戦略計画の理解と実践を行う。
- ◆ グループ内のクラブを年間 4 回以上訪問し、併せてローターアクトクラブも訪問し、クラブの現状を把握し、改善すべき問題点があれば、ガバナーと協議の上、助言、指導する。
- ◆ 関係委員会と連携し、クラブやグループが奉仕プロジェクト・補助金プロジェクトに積極的に取り組むように、クラブに対する支援やクラブ間の調整にあたる。
- ◆ 関係委員会と連携し、各種セミナーや地区大会に多数の会員が参加するように推進する。
- ◆ 将来の地区リーダーを探し、その育成を援助する。
- ◆ ガバナー補佐主導によるグループ内の親睦、学び、奉仕を積極的に推進し、「メンタル・ヘルス(心の支え)」としての IM を開催する。
- ◆ 研修委員会の委員として、特に「メンタル・ヘルス」を考えて会員の研修を推進する。
- ◆ 地区内インター・ローターアクトクラブ、環境の保護小委員会と連携し、プロジェクトの助言、支援をする。

地区委員会の活動

全委員会共通

- ◆ 事業計画を確定し、予算の枠内で委員会を運営する。
- ◆ 従前の活動内容を見直し、新しい活動を企画し、実施する。
- ◆ 地区チームとして、クラブの活性化を実現するため、委員会相互間の情報交換をし、効果的な委員会活動を行う。
- ◆ 全ての委員会活動を将来のリーダー育成に資するものとする。
- ◆ 効果的な委員会セミナーを企画する。(一部委員会を除く)
- ◆ 新しい地区委員を育成し、地区の要職に就けるリーダーを育てる。

研修委員会

- ◆ ガバナー補佐研修、地区チーム研修セミナー、会長エレクト研修セミナー(PETS)、地区研修・協議会の計画において、ガバナーエレクトを援助する。
- ◆ 地区指導者育成セミナー、クラブとローターアクトの指導者育成セミナー、その他の研修会の計画において、ガバナーを援助する。
- ◆ DEI 小委員会は、RYLA 小委員会との連携によりメンタル・ヘルスを考えた、会員、その他の対象者のための具体的なロータリーの関わり方を研究する。

RLI 委員会

- ◆ RLI 方式によるインタラクティブな討論ができる研修を実施する。
- ◆ DEI、メンタル・ヘルスを含めロータリーのビジョン声明、その中の優先事項の目標に沿った研修を研究し実施する。
- ◆ ガバナー補佐研修、地区チーム研修セミナー、会長エレクト研修セミナー(PETS)、地区研修・協議会、地区委員会のセミナーを積極的にサポートする。

戦略計画委員会

- ◆ 国際ロータリーの戦略計画に対する理解を推進するとともに、クラブの戦略計画委員会の設置を推進し、その活動を支援する。
- ◆ 新しい地区の戦略計画を理解し実践のためのセミナーやクラブ支援を推進する。

規定審議委員会

- ◆ 2025年規定審議会に提出する制定案を、クラブの意見を踏まえて提案する。
- ◆ 2022年規定審議会で採択された制定案のクラブへの周知をさらに図る。

危機管理委員会

- ◆ 地区並びにクラブでの危機管理事案に速やかに対応する。
- ◆ クラブにおける危機管理への認識を高めるためのセミナーを実施するとともに、クラブ危機管理委員会への支援を行う。
- ◆ 特に、倫理面の理解と実践を DEI 小委員会および各カウンセラーシステムのある委員会とで行う
- ◆ 地区委員会における危機管理意識の向上を図る。

地区財務委員会

- ◆ 地区予算案の作成並びに地区資金の管理を行い、地区の財務に関する年次報告書を作成する。
- ◆ 収支が正確に保持されているか常時確認する。

奉仕プロジェクト特別会計委員会

- ◆ 奉仕プロジェクト特別会計への特別な理由での資金支援申請を審査する。
- ◆ 資金支援を行った奉仕プロジェクトの実施報告を確認する。

監査委員会

- ◆ 地区活動並びに会計が適切になされたかを監査する。

クラブ管理運営委員会

- ◆ 他の委員会と連携しつつ、クラブをサポートし、クラブの活性化を図る。
- ◆ クラブの活性化と多様化、DEI の理解を図るための効果的なセミナーを実施する。
- ◆ クラブ運営の柔軟性について検討する。
- ◆ My ROTARY への登録率向上と利用促進を図る。

会員維持増強委員会

- ◆ あらゆるジェンダーの会員の増強を図る。
- ◆ 会員増強及び会員基盤の多様化に成功した地区やクラブの手法を検証し、各クラブにその手法を紹介する。
- ◆ 地区内クラブの情報交換を密にして会員増強につなげる。
- ◆ 退会防止に向けた企画・提案を作成し推進する。
- ◆ 衛星クラブを含め多様性のある新クラブの設立を推進する。
- ◆ 効果的なセミナーを実施する。
- ◆ 会員増強・新クラブ結成推進月間(8月)におけるクラブの関連プログラムに協力する。

公共イメージ委員会

- ◆ ローターの公共イメージと認知度の向上を図る。
- ◆ 地区 SNS により活動を内外に発信する。
- ◆ 社会奉仕委員会と連携して地区補助金プロジェクトの実施状況を見学・検証し、地域や他クラブへの情報発信を行う。
- ◆ 報道機関との交流会を企画し、実施する。
- ◆ 効果的なセミナーを実施する。

職業奉仕委員会

- ◆ ローターにおける職業奉仕の理念について委員会で研鑽し、その成果を踏まえて職業奉仕の基本理念が広く会員に理解されるようなセミナーおよび公開委員会を実施する。
- ◆ 職業奉仕月間(1月)におけるクラブの関連プログラムに協力する。

社会奉仕委員会

- ◆ クラブの社会奉仕活動を推進し、ローターの奉仕の理念が広くいわたるセミナーを実施する。
- ◆ 会員増強にもなるクラブやグループが地区補助金プロジェクトを積極的かつ円滑に行えるように、必要な支援を行う。
- ◆ 公共イメージ委員会と連携して地区補助金プロジェクトの実施状況を見学・検証し、他クラブへの情報発信を行う。
- ◆ 発達障がい理解のための講演会を開催するとともに、クラブが開催する講演会を支援する。
- ◆ プロバスクラブとの相互理解を図るとともに活性化を図る。

国際奉仕委員会

- ◆ 国際奉仕のプロジェクトを推進するための効果的なセミナーを実施する。
- ◆ クラブや地区がグローバル補助金等を活用し、多様な国際奉仕活動が実施できるように支援する。
- ◆ VTT、奨学金・平和フェローシッププログラムを支援する。
- ◆ 国際奉仕に関連する月間において、クラブの関連プログラムに協力する。

青少年奉仕委員会

- ◆ 青少年奉仕関連プログラムを関係委員会、クラブと連携し推進するとともにクラブの青少年奉仕活動の認知度を高め、協力体制を強める。
- ◆ リーダー育成のための研修プログラムを構築する。
- ◆ インターアクトクラブの活動を支援し、より活性化するための方策を提案する。
- ◆ 新たなインターアクトクラブの設立を目指す。
- ◆ RYLA プログラムへの会員の理解を深め、実施する。
(メンタル・ヘルスを考慮したセミナーも含め)
- ◆ クラブとの協力のもとに青少年交換プログラムに取り組み、プログラムを成功に導くためのマニュアルを整備する。
- ◆ 新世代交換を再開する。
- ◆ 効果的なセミナーを実施する。
- ◆ 青少年奉仕月間(5月)におけるクラブの関連プログラムに協力する。
- ◆ 学友委員会他関係委員会と連携し、学友の活動を支援する。
- ◆ 青少年奉仕関連プログラムの危機管理体制を確立する。
- ◆ 環境の保護小委員会と連携し、今年度のプロジェクトに協力する。

ローターアクト委員会

- ◆ RI 構成クラブとしてのローターアクトクラブの活動を活性化し、会員増強及びクラブの拡大の方策を提案し実施する。
- ◆ ガバナー公式訪問を支援する。
- ◆ 危機管理体制を確認する。
- ◆ ウクライナ支援のためのアジアルートをローターアクトと協力・開拓し、支援を行う。

学友委員会

- ◆ 5 学友会相互間の交流を促進し、ロータリーファミリーとしての一体化意識を形成する。
- ◆ 地区やクラブの行事への学友の参加を積極的に推進し、ロータリーに対する理解を深める。
- ◆ 青少年奉仕委員会、ローターアクト委員会と連携し、ロータリーファミリーの集いを企画し、実施する。
- ◆ 学友を中心とした新しいタイプのクラブの創出を推進する。

ロータリー財団委員会

- ◆ 6 つの小委員会が互いに連携し、ロータリー財団の活動を推進する。
- ◆ ロータリー財団セミナー、補助金管理説明会、補助金管理セミナーを実施し、ロータリー財団への理解を深める。
- ◆ ロータリー財団補助金プログラムの最終審査を行うとともに、プログラムが適切かつ適正に実施されるように指導及び管理をする。ポリオ根絶のための活動を積極的に支援する。
- ◆ ロータリー財団月間(11 月)におけるクラブの関連プログラムに協力する。
- ◆ ロータリー財団への寄付を推進する。

米山記念奨学委員会

- ◆ 米山記念奨学会の目的や活動内容についての会員の理解を深める。また、そのための効果的なセミナーを実施する。
- ◆ 米山奨学生が会員との交流を通じて、ロータリーに対する理解を深め、国際親善の積極的な推進を図るようにする。
- ◆ 米山月間(10 月)におけるクラブの関連プログラムに協力する。
- ◆ 米山記念奨学会への寄付を推進する。
- ◆ 米山奨学生学友会(兵庫)の活動を支援する。
- ◆ PHD 協会の活動を支援する。
- ◆ 米山学友新クラブ設立小委員会を引き続き設置し、米山学友の新クラブ設立活動を支援する。

2023-24 年度年間数値目標

1. 会員増強	各クラブ純増 2 名
2. My ROTARY 登録率	75%以上
3. ローター財団年次基金	1 名あたり 160 ドル
4. ローター財団恒久基金	ベネファクターまたは遺贈友の会会員 10 名増
5. ポリオ基金	1 名あたり 40 ドル
6. 米山記念奨学会	1 名あたり 17,000 円

2023-24 年度ロータリー賞

重要事項

1. ロータークラブ・セントラルを開く
2. 目標内容を確認する
3. その中から半分を超える目標（全目標の 51%）を選ぶ
4. 選んだ目標を達成する
5. ロータークラブ・セントラルで目標の達成を報告する
6. 達成を祝う！

留意点

- ローター賞の手続きはオンラインで行われます。
- クラブは、1 年（2023 年 7 月 1 日～2024 年 6 月 30 日）をかけて達成に取り組みます。
- ローター賞を獲得するには、その年度を通じて正規クラブであり、瑕疵（人頭分担金の未納）がないクラブでなければなりません。
- ローターアクトは、ローターアクト会長または提唱クラブ会長が、オンライン推薦状を提出してクラブ推薦します。
ローターアクトクラブ 1 件の推薦のみを提出することができます。
- インターアクトは、スポンサーのロータリークラブ会長が、賞へのオンライン推薦状を提出します。
- ローターアクトとインターアクトの表彰状は My ROTARY からダウンロードする PDF 形式となり、賞への推薦はオンラインで行われます。

地区関係名簿

※敬称略

ガバナー諮問委員会

ロータリー財団管理委員・元RI理事
 ガバナー
 パストガバナー
 直前ガバナー
 ガバナーエレクト
 ガバナーノミニ
 ガバナーノミニ・デジグネート

三木 明 (姫路)
 阪上 栄樹 (宝塚)
 神木 董 (加古川)
 田中 毅 (尼崎西)
 安平 和彦 (姫路)
 橋本 一豊 (神戸須磨)
 石井 良昌 (尼崎西)
 加藤 隆久 (神戸)
 宮本 一 (芦屋)
 中村 尚義 (洲本)
 柴田 整宏 (西宮夙川)
 石丸鐵太郎 (神戸南)
 大室 備 (宝塚武庫川)
 滝澤 功治 (神戸須磨)
 丸尾 研一 (神戸西神)
 室津 義定 (尼崎中)
 瀧川 好庸 (神戸西)
 矢野 宗司 (加古川中央)
 浅木 幸雄 (神戸)
 高瀬 英夫 (西脇)
 吉岡 博忠 (伊丹)
 安行 英文 (三田)
 矢坂 誠徳 (神戸西)
 城 守 (姫路)

2023-24年度ガバナー補佐

尼崎グループ
 阪神第1グループ
 阪神第2グループ
 阪神第3グループ
 神戸第1グループ
 神戸第2グループ
 東播第1グループ
 東播第2グループ
 東播第3グループ
 淡路グループ
 西播第1グループ
 西播第2グループ
 但馬グループ

浦上 博隆 (尼崎西)
 藤岡 良二 (川西猪名川)
 谷口 賢蔵 (甲子園)
 谷垣 涉 (柏原)
 須藤 雄二 (神戸東)
 鴫田 香織 (神戸垂水)
 米澤 元雄 (明石)
 宮宅 勇二 (加古川平成)
 藤田 覚 (小野加東)
 秦 紳一郎 (洲本)
 中村 滋彦 (姫路南)
 半田 齊 (相生)
 柴田 章二 (香住)

2023-24年度地区委員会

研修委員会
 RLI委員会
 戦略計画委員会
 危機管理委員会
 規定審議委員会
 地区財務委員会
 奉仕プロジェクト特別会計委員会
 監査委員会

地区研修リーダー・委員長
 DEI小委員長
 カウンセラー
 委員長
 副委員長
 //
 委員長
 副委員長
 委員長
 副委員長
 委員長
 副委員長
 委員長
 委員長

丸尾 研一 (神戸西神)
 吉井久美子 (HYOGO REC)
 矢野 宗司 (加古川中央)
 勇 正一郎 (尼崎東)
 橋本 雅彦 (姫路東)
 太田 叶子 (尼崎東)
 高瀬 英夫 (西脇)
 矢野 宗司 (加古川中央)
 黒田 建一 (西宮イブニング)
 田中 賢一 (伊丹)
 林 知宏 (加古川平成)
 寺尾 秀治 (甲子園)
 矢野 義之 (三田)
 安行 英文 (三田)
 飯田 健一 (神戸南)

クラブ管理運営委員会	委員長	天羽 公夫	(甲子園)
	副委員長	二宮 明彦	(甲子園)
職業奉仕委員会	カウンセラー	安平 和彦	(姫路)
	委員長	大内 晋二	(神戸須磨)
	副委員長	富田 博重	(柏原)
	〃	不動 正章	(洲本)
	〃	遠藤玄一郎	(豊岡)
会員維持増強委員会	委員長	梅原可奈子	(西宮イブニング)
	副委員長	橋本 雅彦	(姫路東)
公共イメージ委員会	委員長	田中 正喜	(尼崎東)
	副委員長	池信 秀明	(伊丹)
	〃	飯尾 雅人	(小野加東)
青少年奉仕委員会	委員長	黒田 建一	(西宮イブニング)
	副委員長	田中 賢一	(伊丹)
	〃	舟元美智子	(神戸東灘)
	〃	白井 務子	(姫路東)
	インターアクト小委員長	贄田 肇	(宝塚)
	RYLA小委員長	北川 博崇	(川西)
	青少年交換小委員長	小倉 克輝	(姫路東)
ローターアクト委員会	委員長	田中 賢一	(伊丹)
	副委員長	黒田 建一	(西宮イブニング)
	〃	山本 竜輝	(神戸RAC)
学友委員会	委員長	永松 潔和	(神戸)
	副委員長	奥田 裕	(神戸モーニング)
社会奉仕委員会	カウンセラー	瀬戸 徹	(西宮)
	委員長	喜多 美雄	(加古川中央)
	副委員長	岩井 秀樹	(伊丹)
	社会奉仕小委員長	小坂 圭一	(尼崎東)
	プロバスクラブ小委員長	田中 正喜	(尼崎東)
国際奉仕委員会	委員長	徳梅 明彦	(あわじ中央)
	副委員長	有川 裕之	(姫路南)
	国際奉仕小委員長	有川 裕之	(姫路南)
	VTT小委員長	中井 章詞	(神戸東)
	奨学金・平和フェロシップ小委員長	鎌谷 正弘	(姫路)
ロータリー財団委員会	委員長	吉岡 博忠	(伊丹)
	副委員長・補助金小委員長	秦 紳一郎	(洲本)
	副委員長・環境の保護小委員長	城 守	(姫路)
	資金推進小委員長	松井 照男	(神戸東)
	財団資金管理小委員長	上野 貴志	(伊丹)
	ポリオプラス小委員長	宮岡 督修	(小野加東)
	ロータリーカード推進小委員長	喜多 美雄	(加古川中央)
米山記念奨学委員会	委員長	竹内 博	(西宮)
	副委員長	三宅 康雄	(芦屋)
	〃	北川 博崇	(川西)
次々期代表幹事		山口 宰	(神戸西)

2023年地区研修・協議会 主催役員

ガバナー	阪上 栄樹	(宝塚)
ガバナーエレクト	安行 英文	(三田)
次期地区研修リーダー	丸尾 研一	(神戸西神)
代表幹事	古川 彰治	(宝塚)
次期代表幹事	若林 学	(三田)
会計長	細川 洋一	(宝塚)
次期会計長	矢野 義之	(三田)

部門別分科会参加者名簿 (2023年4月24日15:00現在)

G	クラブ名	会長	幹事	クラブ管理運営	職業奉仕	会員維持増強
尼崎	尼崎	池田 雄二	井上 太士	伊口 隆弘	河村 隆	芝 俊一
	尼崎北	武本 正照	小野 敏国	増富 忠義	福味 洋一郎	河原 顕誓
	尼崎東	磯田 雅司	安田 亨	小畑 充生	中島 将博(代理)	野村 昌宏
	尼崎西	前田 裕幸	玉山 善博	越山 正	中島 貴美子	四宮 慶太郎
	尼崎南	久木元 悦子	宮崎 健一	吉田 哲也	越智 有一	川口 徹
	尼崎中	二神 敏行	池澤 一雄	綾野 高謙	秋山 忠雄	垣添 誠雄
阪神第1	伊丹	滝内 秀昭	福田 充男	松本 輝明	杉本 啓次(代理)	中山 行夫(代理)
	川西	鴨井 公司	木戸 星一	堀池 周司	芝田 一夫	名越 亮
	伊丹有明	-	-	-	-	-
	川西猪名川	林 健一	藤本 高弘	木曾 賢造	下岡 節三(代理)	岡 康栄
	伊丹昆陽池	-	-	-	-	-
	西宮イブニング	松本 周平	香川 真一	谷川 弘樹	松嶋 洋子(代理)	梅原 可奈子
阪神第2	西宮	篠田 利正	品川 和隆	澤田 朗	前島 紳作(代理)	日高 厚
	芦屋	里深 久起	酒本 藤雄	加納 真治	駒井 陽次	植田 英規
	甲子園	森 裕司	寺尾 秀治	木下 由美子	森村 次朗	河合 将人
	西宮夙川	中村 修己	川西 繁男	岡田 信也(代理)	中作 良成	大塚 勝弘
	芦屋川	小倉 智裕	松本 由美子	永瀬 隆一	小泉 星児	小柴 健二
	西宮恵美寿	森 英貴	小林 英明	谷ノ口 義弘	李 暎浩	近藤 修平
阪神第3	宝塚	大平 祐規子	横山 裕行	山本 章太郎(代理)	仲内 悦治	田辺 朱希美
	三田	今垣 均	松原 弘幸	西上 俊彦	柴田 茂徳	道遊 康浩
	篠山	古杉 和広	中井 雅人	石井 祥平	藤井 恵一	月森 一延
	柏原	篠倉 庸良	森田 茂樹	土田 博幸	井上 雅仁	川口 浩樹
	宝塚武庫川	竹田 一也	八木 康一	大橋 泰弘	濱田 英樹	畑 世剛
	三田南	下山 隆一郎	大前 衛	東野 幸一	松永 格直	柳田 昌三
	HYOGO REC	渡邊 誠	長澤 友滋	藤原 一秀	藤原 一秀	上野 秀男(代理)
神戸第1	神戸	吉井 満隆	木下 学	森本 泰暢	森本 真弥	河野 忠友
	神戸東	樋口 一哉	和田 真一	吉田 博	澤田 正樹	樋口 敦仁
	神戸東灘	児玉 健	西尾 至	池尾 浩之	金田 庄一郎	皆吉 晃弘
	神戸南	塔筋 幸造	大西 伸治	福田 義信	高取 宏行	三宅 宏和
	神戸六甲	中島 健治	山野 仁	西岡 良和	関 通孝	中島 健治(代理)
	神戸ベイ	老田 新一郎	西山 勝敏	嶺山 洋子	前田 烈	吉田 基毅
神戸第2	神戸西	神津 科野	善本 秀樹	矢野 裕詞	奥野 隆生(代理)	井本 祐子
	神戸須磨	中右 剛彰(代理)	山崎 智之	益野 禎之(代理)	伊富貴 常雄	武貞 知範
	神戸垂水	鷺尾 太一	木下 保	新井 紀美子	近平 礼子	由良 博
	神戸西神	石津 英一郎	伊藤 幸美	鈴木 一史	石川 準	西藤 隆弘(代理)
	神戸中	大谷 秀明	藤定 真由美	内波 憲一	井本 知奈美(代理)	吉田 泰弘
	神戸モーニング	村上 英樹	奥田 裕	古賀 大輔	高 英彦(代理)	湊 恭太郎

※敬称略

青少年奉仕	社会奉仕	国際奉仕	ロータリー財団	米山記念奨学	クラブ名	G
高岡 久	吉田 啓方	藤井 一成	田中 良三	吉川 壽一	尼崎	尼崎
有田 亨	廣岡 大雄	森上 恒	富永 和慶	小野 康三	尼崎北	
大海 昌栄	佐藤 茂樹	山田 暁久	平山 哲行(代理)	西村 嗣人	尼崎東	
橋本 好弘	中尾 信彦	池元 宏行	石井 良昌(代理)	高見 宗利	尼崎西	
川岸 邦充	西原 忠彦	芝 泰雄	與那嶺 まり子	徐 幸一	尼崎南	
勝本 敏広	大附 一彦	佐茂 省治	神谷 誠治	佐藤 肇	尼崎中	
伊藤 文吾(代理)	佐藤 実路	審良 和哉	京井 一貴(代理)	村上 正人	伊丹	阪神第1
佐々木 唯誌	三宅 圭一	加藤 仁哉	神田 良一(代理)	明神 美也子	川西	
-	-	-	-	-	伊丹有明	
田川 淳(代理)	中原 佳子(代理)	藤岡 良二	高木 勝久	小路 力子	川西猪名川	
-	-	-	-	-	伊丹昆陽池	
黒田 建一(代理)	西角 賢太郎	松本 周平(代理)	松嶋 洋子(代理)	太田 伸(代理)	西宮イブニング	
高橋 秀仁	遠藤 剛	梅若 基徳	山本 正明	浦山 暢之	西宮	阪神第2
杉原 努	桑田 大介	高橋 卓志	田房 宏之	二川 昌也	芦屋	
東耕 功	角野 哲夫	勝部 芳樹	高須賀 宗市	吉住 正基	甲子園	
宮本 孝(代理)	光造 誠三	山本 正二	松岡 繁郎	赤木 幸子	西宮夙川	
坂尻 憲治	長井 彦一郎	清水 丈嗣	溝井 康雄(代理)	山本 佳秀	芦屋川	
久保 信彦	中川 壮平	長部 幸子	大江 与喜子	杉本 欣也	西宮恵美寿	
費田 肇	神尾 友治	大山 昌勲(代理)	栗田 義博	田中 哲三	宝塚	阪神第3
藤田 信樹	油谷 良太	入江 智美	矢野 義之	山本 信勝	三田	
中井 雅人(代理)	長澤 典永	今井 保晴	井上 隆雄	小南 稔彦	篠山	
竹内 理弘	荻野 富雄	坂本 浩	山名 純吾(代理)	金子 敬之	柏原	
中尾 篤志	稲生 英介	高田 剛	奥西 要	澤田 容延	宝塚武庫川	
関口 正人	大前 衛	関口 正人	柳田 昌三	東野 幸一	三田南	
福山 太一	渡邊 誠	長澤 友滋	傳 建良	児玉 貴春	HYOGO REC	神戸第1
井植 啓悟	松田 幸治	日笠 秀樹	平野 誠人	三木谷 研一	神戸	
芳賀 博之(代理)	麦 志明	中井 章詞	鮑 悦初	山本 裕計(代理)	神戸東	
安藤 真克(代理)	和田 孫博	横山 道男	松本 賢吾	横田 勝年	神戸東灘	
乾 正博	北野 泰造	奥代 隆志(代理)	中野 友史	尤 昭福	神戸南	
東 國隆	伊藤 浄真	中間 秀一	林 同福	山野 仁(代理)	神戸六甲	
西山 勝敏(代理)	松本 浩之	渡部 健	須藤 仁一	前田 靖文	神戸ベイ	神戸第2
八十島 典子	尼崎 紀行	近田 和裕	小松原 景久	梶 宏昭	神戸西	
富永 龍弘	彦坂 達也	倉島 進(代理)	合田 新一郎	奥田 雅人	神戸須磨	
八代 智	星島 一夫	小林 秀一	善國 高豊	永田 哲也	神戸垂水	
壁屋 香	大西 敏郎	山崎 市雄	碓永 陽介	白石 航大	神戸西神	
山本 裕一郎	平山 一哉	奥田 祐司	高井 敏郎	岸田 寛司	神戸中	
門脇 正英	坪川 武司	富澤 拓弥	原 崇浩	毛利 康人(代理)	神戸モーニング	

部門別分科会参加者名簿 (2023年4月24日15:00現在)

G	クラブ名	会長	幹事	クラブ管理運営	職業奉仕	会員維持増強
東播第1	明石	宮本 享明	濱崎 誠二	後 祥和	大西 能	卜部 勇輝
	明石東	松浦 寛	松田 洋子	福永 博一	岡田 州史	戸田 清志
	明石北	兼古 茂樹	井上 直之	濱端 俊	榎本 浩	櫻井 庸介
東播第2	高砂	後藤 宗久	加茂 良祐	西田 州広	江村 治	中野 哲郎
	加古川	釜谷 和明	吉田 太郎	大庫 隆夫	中田 桂太郎	船原 太郎
	加古川中央	上月 和洋	山谷 光	大西 和樹	川西 正廣(代理)	藤井 晃
	高砂青松	櫻井 宣孝	三枝 丈次	青柳 淳	濱田 喜重	廣瀬 明正
	加古川平成	原田 悟	畑山 哲人	鈴木 勝博	金川 和敬	松野 剛(代理)
東播第3	三木	五本上 照正	岡島 正造	宮永 淳	久野 大介	岡田 紹宏
	小野加東	中山 松比古	橋本 一弘	飯尾 雅人	渡瀬 直哉	平尾 博之
	北条	堀井 幸恭	小田 岳人	林 垂栄(代理)	安達 功	小谷 正博
	西脇	高瀬 幸一郎	東口 喜樹	園田 純也	西山 孝彦	齋藤 太紀雄
	三木みどり	藤田 雅哉	大林 憲吉	一井 康秀	間瀬 清	清原 由美子(代理)
淡路	洲本	長手 康祐	柳 弘一郎	木村 一郎	廣島 茂雄	柴田 拓二
	南淡路	野村 将司	豊嶋 賢之	安部 則行	坂田 哲也	鹿田 淑子
	淡路三原	岡田 英明	濱口 健一	瀧口 洋	太田 雅之	志智 宣夫
	津名	河野 良啓	岡本 正司	砂田 安雄(代理)	吉村 秀樹	井筒 邦夫
	あわじ中央	小浜 博紀	児玉 和也	嶋本 宏信	木下 幸大	宮本 昌典
西播第1	姫路	三木 健義	横田 昌彦	津田 隆雄	太田 誠	城 守
	姫路南	小林 義昭	柳川 芳廣	横田 勝好	高石 佳知	竹中 一成
	姫路西	永岡 準司	振角 憲治	石橋 悦次	横山 健彦	島田 進一
	姫路東	郡山 佳也	酒居 啓介	橋本 雅彦	松浦 絵理	前田 洋助
	神崎	壺阪 政和	上山 洋一郎	常次 佳丈	依藤 義光	波多野 芳則
	姫路中央	松井 正光	東海 有紀	山本 美比古	永井 久晴	山本 美比古(代理)
西播第2	赤穂	石原 将司	平林 喜文	木虎 知己	赤井 高之	大河 誠
	相生	江見 重人	平田 雅義	神谷 栄幸	松浦 哲哉	富田 裕子
	龍野	富田 哲雅	一色 かつみ	片岡 孝次	高田 真也	本條 昇(代理)
	上郡佐用	石原 香澄	高見 一良	辻 洋一郎	村山 実	箸蔵 法岳
但馬	豊岡	村尾 隆之	小松 浩樹	坂本 和也(代理)	笠原 泰藏	藤原 紘道(代理)
	生野	夜久 泰造	間島 毅彦	池野 雅視	佐竹 保	松本 早正
	香住	亀村 清輝	藤原 久嗣	柴田 章二	坪多 敏夫	秋山 四郎
	豊岡円山川	岡本 慎二	長田 通明	河本 学司	石田 昌之	鈴木 政宏
	和田山	田村 敏胤	西 昭好	衣川 義弘	浄慶 耕造	上地 拝碩
宝塚ユニバーズ ロータリー衛星クラブ	宝塚ユニバーズ	麦 嘉輝	-	-	-	-
	神戸RAC	若松 美樹	-	-	-	-
	神戸須磨RAC	阪本 渚子	-	-	-	-

※敬称略

青少年奉仕	社会奉仕	国際奉仕	ロータリー財団	米山記念奨学	クラブ名	G
川崎 喜昭	伊藤 太	福水 秀樹	三好 宏	足立 達哉	明石	東 播 第 1
中谷 佳弘	日置 晴喜	阪田 真也	宮崎 年容	篠田 欣一	明石東	
小倉 敏郎	松田 千尋	大谷 良太	石原 隆志	神内 隆雄(代理)	明石北	
坂牛 裕	坂井 智代	後藤 純次	覚野 成広	福島 孝一	高砂	東 播 第 2
畑 公平	前川 真一郎	高田 勝典	玉川 正博(代理)	大辻 利紀(代理)	加古川	
岡本 良太郎(代理)	田端 和彦	星野 由香(代理)	衣笠 昭平	高山 昭則	加古川中央	
大橋 卓司	内海 薫	佐野 栄作	小西 文孝	田中 伸明	高砂青松	
高田 裕美	井上 規代子	鳥井 俊介	榊 誠	山本 裕一	加古川平成	
宮脇 靖治	津村 敏弘	高馬 将一(代理)	矢野 謙	大西 次丸(代理)	三木	東 播 第 3
上月 規秀	上田尾 真	藤原 篤司	前田 光教(代理)	小西 龍機	小野加東	
田中 俊宏	仲田 五郎	米田 秀志	高橋 清文	三宅 成和	北条	
戸田 尚秀	藤井 治幸(代理)	来住 周亮	金田 実	後藤 直樹(代理)	西脇	
岩居 康之	五百蔵 伸一	藤田 高弘	生友 勝幸	近藤 悟	三木みどり	
高鍋 直人	木戸 清隆	番所 利行	藤岡 照三	長井 康洋	洲本	淡 路
河野 隆行	山形 収司	三富 良圓	天羽 恒美	坂本 哲也	南淡路	
玉田 貴彰	古川 太郎	奥井 正造	日種 顯夫(代理)	日種 顯夫	淡路三原	
伊木 敏和	上河 護	北坂 勝(代理)	谷村 克也	糟谷 武久	津名	
片井 一雅	水上 良夫	土井 一史	阿部 昌弘	登 康行	あわじ中央	
瀧川 祥也	赤鹿 竜夫	日下部 聡	木谷 憲一	空地 顯一	姫路	西 播 第 1
佐藤 慎介	上坪 正人	山田 直樹	小原 直人	藤井 茂樹	姫路南	
山田 剛	石田 文徳	三宅 敬	帽田 剛史	細野 友克	姫路西	
壺阪 康裕	河本 一郎	白井 務子	名田 和由	森下 裕司	姫路東	
尾上 克具	中塚 昌利	清瀬 裕巳	堀口 勝久	塔尾 章	神崎	
東海 有紀(代理)	永井 久晴(代理)	藤森 久嘉(代理)	藤森 久嘉	山本 美比古(代理)	姫路中央	
小野 孝幸	田原 正訓	横山 淳平	橋本 太志(代理)	奥藤 利文	赤穂	西 播 第 2
渡辺 昌弘	下田 信治	田口 務	大西 恒祐	大西 賢一	相生	
伊藤 充弘(代理)	喜多村 隆博	崎野 圭子	荻野 正和(代理)	段 克史(代理)	龍野	
岡田 正春	寺本 英徳	大澤 直子	井口 洋子	朝来 忠平	上郡佐用	但 馬
濱上 将巳	土生田 尚士	山下 大輔	井戸 督	粟蔵 富雄	豊岡	
上田 真之	中島 幸男	榎谷 宏光	木村 嘉宏	佐藤 恭	生野	
山村 俊雄(代理)	秋山 四郎	今井 学	坪多 敏夫(代理)	山村 俊雄	香住	
小田 尚(代理)	小川 誠吾	上田 倫久	草壁 俊之(代理)	生駒 和雄	豊岡円山川	
大林 賢一	世登 道德(代理)	松本 政信(代理)	小野山 真生	田中 貴俊	和田山	
-	-	-	-	-	宝塚ユニバース ロータリー衛星クラブ	
-	-	-	-	-	神戸RAC	
-	-	-	-	-	神戸須磨RAC	



RI 会長エレクトが 2023-24 年度会長テーマを発表

サウス・クイーンズフェリー・ロータリークラブ（スコットランド）の会員であるゴードン R. マッキナリー国際ロータリー会長エレクトは、1月9日、米国フロリダ州オーランドで開催中のロータリー国際協議会で講演し、2023-24 年度会長テーマ「世界に希望を生み出そう」を発表しました。この講演でマッキナリー氏は、問題を抱える国で平和を推進し、紛争の影響を受けている人びとを助け、過去のリーダーたちが始めたイニシアチブを引き継いでいくよう会員に呼びかけました。また、世界の注目を集め、現在の期待をはるかに超える可能性を切り開いていくことを求めました。

「私たちの目標は、破壊的な紛争から世界が立ち直れるように、希望を取り戻すことです。そうすれば、私たち自身のために持続可能な変化をもたらすことが可能となります」とマッキナリー氏は述べました。

また、タイで出会った一人の女性の話を紹介しました。そこでは、2004 年末に南アジアを襲った津波の後で、ロータリー会員が家屋や集会場、保育・医療施設の建設にあたっていました。津波で夫、娘、息子を失くし、生計手段も失ったというその女性は、マッキナリー氏にある物をプレゼントしました。それは、美しい貝殻でした。

「彼女は、ロータリーのおかげで前向きな気持ちを取り戻すことができたと話していました。私たちは彼女に希望を与えたのです」とマッキナリー氏。「これこそ、ロータリーが世界にもたらしている変化です。この変化が、一つずつ希望を取り戻し、新たな希望を生み出しています」

平和の推進

世界に希望を生み出す重要な方法となるのは、平和に重点的に取り組むことだとマッキナリー氏は述べ、過去1年間、ロシア軍による侵攻を受けたウクライナの人びとを支援するためにロータリー会員が行動してきたことに言及しました。ロータリーが人道的支援に力を入れたことで、ウクライナでのロータリー会員数は増えています。しかし、ウクライナだけでなく、イエメン、アフガニスタン、シリアをはじめ世界の多くの地域で平和が実現しない限り、本当の安らぎはないと指摘しました。

「平和とは、希望が根づくための土壌です」とマッキナリー氏。

継続の力についても強調し、過去のリーダーの取り組みを継続するよう会員に呼びかけました。自身も、シェカール・メータ 2020-21 年度会長が立ち上げた「女児のエンパワメント」イニシアチブを継続し、ロータリー全体で多様性、公平さ、インクルージョンを強調し続けていくことを約束しました。また、ポリオ根絶への継続的な取り組みの重要性を物語る最近の一連の出来事にも触れました。過去1年間、世界各地でポリオ症例が再発しており、ロータリー会員がポリオ根絶活動をリードすることが今まで以上に重要となっています。

このため、ロータリーが毎年5,000万ドル以上を集め、ビル&メリンダ・ゲイツ財団からの2倍額の上乗せ資金を確保しなければならないとマッキナリー氏は話しました。現在、ポリオ根絶に寄付している会員は約12人に1人に過ぎず、毎年寄付しているクラブも5分の1を下回っています。

マッキナリー氏は、「ポリオのない世界」というロータリーのビジョンを実現するために、クラブの中に新たな緊急感を生み出すよう地区ガバナーエレクトの協力を求めました。「各年度に何をすべきかではなく、それを超えて考えるべき時が来ています。できるだけ早く実現するために必要なあらゆるリソースを、私たちが提供していかなければなりません」

メンタルヘルスへの取り組み

マッキナリー氏はさらに、新型コロナウイルスの世界的流行によって深刻化しているメンタルヘルスの問題の影響を受けている人たちに、ロータリー会員が希望を与えるべきだと述べました。多くの人が家族を失い、社会的つながりを断たれ、特に若い人たちの教育や育成が妨げられています。その結果、世界でメンタルヘルスの問題に直面する人が増えています。しかし、助けを求めることは弱さの現れであると考えられることが少なくありません。

「真実から目をそむけることはできない」とマッキナリー氏。「助けを求めることは勇気ある行動です。健康と幸せにいたる道を求めることは、さらに勇気が要ることです」

次年度以降、ロータリーはメンタルヘルスサービスの改善に取り組んでいくとマッキナリー氏は続け、ロータリーは会員と奉仕を受ける人の両方を支える組織として知られるべきだと述べました。「メンタルヘルスの専門家なら誰もが口をそろえてこう言うでしょう。ほかの人を助けることで、本質的に自分自身が助けられるのだ、と」

講演の最後には、継続と革新の理想的なバランスについて述べました。「ロータリーは、平和、機会、生きる価値ある未来の土台を築いています。私たちが得意とすることを継続すると同時に、変化に対してオープンで前向きになり、世界と自分自身の中に平和を築くことに力を注げば、ロータリーはより平和で、より希望のある世界を築く手助けができます」



ゴードン R. マッキナリー

2022-23 年度会長エレクト

South Queensferry ロータリークラブ
スコットランド、ウェストロージアン

エディンバラの王立高校とダンディー大学で学び、口腔外科の大学院学位を取得。2016 年までエディンバラで自身の歯科医院を経営。英国小児歯科学協会のスコットランド東部支部会長を務めたほか、さまざまな教育的役職を歴任。また、長老会のリーダー、クイーンズフェリー教区会衆派教会理事会の会長、スコットランド国教会総会のコミッショナーも務めた。

1984 年、26 歳でロータリーに入会。South Queensferry (サウス・クイーンズフェリー) ロータリークラブに所属し、グレートブリテンおよびアイルランドの国際ロータリー (RIBI) の会長と副会長、RI の理事と委員会メンバー (2022 年ヒューストン国際大会委員会アドバイザー、運営審査委員長など) を務めた。

新しいロータリークラブやグループを築くために会員と協力できるのを楽しみにしており、「私のビジョンは、ロータリーの仲間になりたいと思うすべての人、世界でよいことをしたいと願うすべての人が、それぞれに合った方法でどこでも参加できるロータリーとなること」と話す。

英国を拠点とする非営利団体「ホープ・アンド・ホーム・フォー・チルドレン」の後援者であり、同団体と RIBI とのパートナーシップを先導して、ルワンダ大虐殺によって孤児となった子どもたちを支援。開発途上国の人びとや家族、ビジネスに持続可能な人道支援を提供する Grantham Kesteven ロータリークラブ (英国リンカンシャー) のイニシアチブ「Trade-Aid」も後援しているほか、国立の精神保健機関である Bipolar UK のアンバサダーを務めている。

趣味はラグビー、グルメとワイン、スコットランドの伝統的な杖づくり。

ロータリー財団は「ロータリーの奉仕を動かす燃料」であるとし、妻ヘザーさん (ロータリアン) とともにポール・ハリス・フェロー、メジャードナー、ロータリー財団のベネファクター、遺贈友の会会員となっている。

孫娘たち (アイビーさん、フロレンスさん) が幸せに暮らせるより良い世界をつくるために、会長として全力を捧げたいと考えている。

会長イニシアチブ

メンタルヘルスの優先

精神疾患や心の健康は話しづらいトピックだと感じるかもしれませんが、国際社会で人が幸福に生きるには大切なことです。このような問題に取り組むための安全な環境を作ることは、私たちと関わるすべての人を歓迎し、公平で、インクルーシブな環境につながります。

ゴードン氏は、2023-24 年度に以下のような活動を行うことをクラブと地区に奨励しています。

- ・心の健康の話題に伴うスティグマの解消
- ・メンタルヘルスのニーズに関する認識の向上
- ・メンタルヘルスの支援や治療へのアクセス改善

バーチャル交流を通じた平和構築

ロータリーは、人と人とのつながりを生かして平和のために活動してきた長い歴史がありますが、新型コロナウイルスの流行により、直接顔を合わせて活動することが困難になっています。コロナ禍を通じて学んだことをヒントに、ゴードン氏は、より多くのプログラム、行事、活動にバーチャルの要素を取り入れることを地区に奨励しています。テクノロジーを活用してつながりを作ることで、より多くの人にロータリーを体験する機会を提供できます。

2023-24 年度、ロータリー青少年交換、新世代交換、ロータリー友情交換、その他のプログラムにおいて、これらの要素を追加または維持することには、次のような利点があります。

- ・会員や参加者が異文化を体験し、新しい友人を作り、国際的な認識を深めるための新しい方法を提供する。
- ・時間、健康、または経済的な理由で入会が困難な人に、参加への道を開く。
- ・異文化間のコミュニケーションと理解を深め、より安定した平和な地域社会を実現する。

女兒のエンパワメント

シェカール・メータ 2021-22 年度会長が立ち上げ、ジェニファー・ジョーンズ 2022-23 年度会長が継続した、世界中の女兒と女性のエンパワメントに焦点を当てた取り組みを、ゴードン氏も継続します。女兒の健康、福祉、教育、経済的安定を向上させる活動を続けることが会員に奨励されています。

2023-24 年度国際協議会報告

今回、3年ぶりに、世界からガバナーエレクト、シニアリーダーが米国フロリダ州オーランドに集まり、国際協議会が開催されました。オーランド国際空港から25分ほどの風光明媚なしかも、アメリカのアミューズメントパークがこれでもかというほど、開催地からわずか車で10分ほどの距離にあるにもかかわらず、一步も外に出ることなく全体会議9回、セッション7回を5日間で行なう、体力と感動と次年度へ向けての勇気をいただいた体験でした。

そこで感じたことは、ロータリーの国際性と協調性の姿だったように思います。

1. さて、開会メインセッションで、ゴードン R. マッキナリー国際ロータリー会長エレクトは、2023-24年度会長テーマ「世界に希望を生み出そう」を発表しました。

マッキナリー氏は、まず、ご自分の出身地であるスコットランドエディンバラ郊外のフォース川河口付近にかかる「フォース鉄道橋」の話をしていきます。

フォース鉄道橋は1890年に開通され、以来130年以上の長きに渡り乗客や貨物を運び続けていますが、その優れた造形美から「鋼の恐竜」とも呼ばれ、2015年には世界文化遺産に登録されています。

マッキナリー氏がここで伝えたいことは、この鉄道橋が、「決して会うこともない、知り合うこともないであろう将来の人たちの生活を改善しようとの明確なビジョン」を持った人びとによって造られ、そして、実際に世代を超えて人びとの生活に便益をもたらしているということです。それは、私たちロータリーのビジョンに基づく行動が、将来、奉仕を受ける人たちからありがたがられるのと同じだと。

2. そして私たちの目標は、破滅的な紛争から世界が立ち直れるように、「希望」を取り戻すことなのだとして述べ、

詩人マヤ・アンジェロウの言葉を引用して、「**継続**」の重要性を強調されました。

マッキナリー氏は、私たちロータリーのビジョンに基づく行動が、これまでも大きなインパクトをもたらしてきたことについて、次のような実績を紹介するとともに、さらに大きなインパクトをもたらすためには、「継続」が重要であると指摘します。

マッキナリー氏は、「継続」とは、「以前のリーダーたちのよいアイデアを前進させることを意味する」と述べています。

ロータリーの継続とは、これまでのリーダーのアイデアや取り組みを「**前進**」させることだと。(私たち自身のための持続可能な変化をもたらすことが可能になる)

「**思考を止めて同じことを続けることではないのです**」と続けます。

この講演でマッキナリー氏は、問題を抱える国で平和を推進し、紛争の影響を受けている人びと

を助け、過去のリーダーたちが始めたイニシアチブを引き継いでいくよう会員に呼びかけました。また、世界の注目を集め、現在の期待をはるかに超える可能性を切り開いていくことを求めました。

この引用が素晴らしいのは「**私たち自身**」と「**世界**」を同列に扱い、両方に訴えかけていることです。私たちロータリーのビジョンと、取るべき行動に重なることでもあります。

続けて、

自分らしくあるために/思いやりのある行いで/不親切な世界をあっと言わせるために

私たちは、世界で、地域社会で/そして、自分自身の中で/持続可能な良い結果を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。

と続けます。

さらに、ゴードン会長は、これまでのリーダーが導き、私たちが取り組んだ継続の成果として以下のめざすべき強調点を示されました。これらの成果は、さらに前進させインパクトを導き出さなければならぬと続けました。

Elevate Rotaract

ローターアクトクラブはロータリークラブのパートナーとしてではなく、ロータリー全体のリーダーシップを取り始めています。

みんながプロジェクトのビジョンを象徴する色の風船を持って走るマラソン大会を企画し、ファンドレイジングした好例を紹介され、ローターアクトからの寄付は 50 万ドルを超えたということも、アクトの活動の活発さとロータリーの一翼を担う活動体になっていることを紹介されました。

で、より一層のローターアクトの地位とその活動の必要性をさらに高めること。

女兒のエンパワーメント

協議会では、エンパワーメントされた女兒が立派な世の中に奉仕する世界人になったこと、そして次の世代の女兒のために就学資金がポケットマネーから提供され、希望をもたらしたストーリーが紹介されました。

ロータリーのエンパワーメントとは手を差し伸べることではなく、それぞれが秘めている能力、才能を遮っているモノを取り払う取り組みと考えるべきですと続けます。

ゴードン会長エレクトは、女兒のエンパワーメントを女性のエンパワーメントに前進させようと呼びかけられました。

Diversity, Equity, and Inclusion(多様性、公平さ、インクルージョン)

中核的価値観に根差す DEI は、皆様の取り組みと認識向上を経て、今般 2023 年手続き要覧において(ロータリーへの基本理念)に収められました。

会員を増やす、(入会を増やし、退会を減らす)ことや女性会員の比率を上げることは大事なことで

すが、DEIは単なるツールではなく、私たちそのものを映し出す文化にしたいという願いがあります。

例えば、私たちの地区の女性会員の比率は8%弱。もちろん、もっと引き上げたいのですが、それより大切なことは、現にいらっしゃる8%の会員に100%、存分にロータリーライフを満足していただくことが肝心だと思います。誰も、不安と期待が混じりながらロータリーの輪に加わるのです。

彼はここで、DEIを「社会的スティグマの解消」なのだと言っています。

END POLIO ポリオのない世界を

なぜ、ポリオ根絶は、私たちの最優先事項なのか考えたことがあるでしょうか、と訴えます。「ロータリーは、ポリオだから」と簡単に片づけたり、「いつまでやるの?」そんな声も時折聞こえてくるといいます。

世界の子供たちと交わした約束だから、天然痘根絶に次ぐ人類の偉業だから、ポリオの脅威から子供たちを解放するのは究極の持続可能な変化だから、いくつもの正解があると、ゴードン会長エレクトは話します。

ロータリーは、ポリオ根絶を担える職業や専門スキルの集まりでもあり、国際的なネットワークでもあるのです、と彼は訴えます。

そして、誰も(国)がやらなかったからロータリーがやる。これもロータリーの強みと彼は伝えます。ポリオプラスプログラムを開始した時に思いを寄せましょう。誰もが無謀だといいましたが、ここには確かに、99.9%まできた事実があるのですとポリオ根絶の重要性を今年度も重視する考えを述べられました。

未来はあなたの手の中に

ロータリーは、世界ポリオ根絶推進計画(GPEI)のコアメンバーとして、新たな戦略計画「ポリオ根絶戦略2022-26:約束を果たすために」を展開しています。それぞれのスタイルに合わせて「時間」をささげ、「声」となり、惜しみない「寄付」で希望を生み出そうではありませんか、と彼は訴えました。

以上のことをまとめると

- ① ロータリーが、ここ数年、「ローターアクト」に力を与えると約束し、それを実行してきたこと、これからもロータリークラブとローターアクトクラブが互いに協力し、支え合う新しい方法を見つけ続けることが重要だと述べています。
- ② シュカール・メータ会長及びジェニファー・ジョーンズ会長が、ロータリーが長年積み重ねてきた「女児のエンパワーメント」のプログラムを継続させてきたこと、世界中の少女が強く、十分な能力を身につけた女性へと成長できるよう支援するために、マッキナリー氏もこのプログラムを継続させると述べています。
- ③ DEI(多様性、公平さ、インクルージョン)の取り組みも継続させること、DEIの最も重要な側面は、ロータリーを、どこからであれ最高の人材、最高のアイデア、最高のパートナーシップを受け入れるオープンでインクルーシブな組織にすることにあると述べています。

④ ロータリーが、「ポリオのない世界」という夢（ビジョン）を追い続け、最優先事項として位置付けて、継続して多くのことを成し遂げてきたこの35年間は、私たちの誇りであること、最近、再びポリオが発生したことで、世界の子どもたちを脅かすポリオという恐ろしい病の根絶に再び注目が集まっていること、「ポリオの根絶」というロータリーの夢（ビジョン）を実現するために、ロータリーは新たな緊張感を持って必要なあらゆるリソースを提供すべき時が来ているのであり、根絶が実現した暁には、ロータリーは大きな歴史的賞賛を受けるに値すると述べています。

3. 次に、マッキナリー氏は、「今は歴史的なとき」であると指摘します。

言うまでもなく、

- ① ロシアのウクライナ侵攻によって、世界の平和が脅かされ、多くの人びとが壊滅的被害を受けていること（同じことが、イエメン、アフガニスタン、シリア、そして世界のほかの数十の紛争地域にも当てはまること）
- ② コロナ禍の影響によって身近な人を失ったり、あるいは、社会的なつながりが絶たれたり、社会の分裂が広がることで多くの人びとが傷つき、メンタルヘルスの問題に直面する人が増えていること

が念頭に置かれています。

マッキナリー氏は、「今は歴史的なときであり、ロータリーが世界の注目を集め、現在の期待をはるかに超えた可能性への道を示す機会が訪れている」と「今」を位置付けています。

2で述べたようなロータリーが得意とすることを継続すると同時に、このような歴史的変化に対して、ロータリーは、オープンで前向きに、粘り強く、果敢に、新たな取り組みを行う必要があるとして、「継続と革新の理想的なバランス」について触れています。

そして、マッキナリー氏は、「これまでもロータリーは歴史の呼びかけに応えてきた」と自負します。

「ロータリーがしかるべき運命を切り開くには、私たちは常に進化し、時には革新的にならなければならない」とのポール・ハリスの言葉が思い出されるどころです。

4. ここでマッキナリー氏は、「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」というロータリーのビジョン声明に着目します。

「世界と自分自身の中に持続可能な変化を生む」というビジョン声明の要素に焦点を当てて、「歴史の呼びかけ」に応える方法を見出そうとしています。

行動計画(THE ACTION PLAN)

希望は夢と想像力の中に、

そして夢を実現したいと強く願う勇気の中にある

ポリオワクチンを開発したジョナス・ソークの言葉は、私たちが推進する行動計画に当てはまりません。希望を生み出し、変化に必要な知識と勇気をロータリー会員に与えてくれる行動計画をみんなで協力して推進することはリーダーシップにおける最良の継続に他ならないと述べています。

言い換えれば、ゴードン会長エレクトは、世界に希望という明かりを灯す行動計画を期待しています。世界を見渡し、世界を歩いてきた氏は、果たすべき役割があり、果たす能力も意思もある私たちロータリーの力を信じています。

そのような行動計画に盛り込まれるべき要素として、四つの戦略的優先事項に従い、次のように述べられました。

・既知の成果と実証された証拠に基づいて奉仕プロジェクトを立案する方法について会員に話す必要がある。

・互いに、そして私たちが奉仕するすべての人とオープンで、インクルーシブで、思いやりのある心をもって接する必要がある。

・世代や国境を越えて活動し、関係を築くためのあらゆる機会を探し求めてください。

・世界に持続可能な変化を生む新しいアイデアや視点を、進んで受け入れてください。

戦略的優先事項は、ビジョンの達成のための取り組みです。冒頭に示したように、私たちが共有するビジョンは2つの視点が含まれています。

(世界で、地域社会で)
(そして、自分自身の中で)

ゴードン会長エレクトは、この2つの視点から「平和」へのイニシアチブを私たちに語り掛けました。

マッキナリー氏は、破壊的紛争によって世界の平和が失われ多くの人びとが壊滅的被害を受け、あるいは、地球上の多くの人びとがコロナ禍によって自分たちの幸せ（自分の中の平和）を脅かす課題に直面しているのであれば、ロータリーは、「世界と自分自身の中に平和を築く」ことに力を注ぐべきであると述べます。

そこから、マッキナリー氏は、「次年度の私たちの計画は、世界に平和をもたらし、紛争の影響を受けた人びとを癒やすこと、そして、私たち自身の内面的な闘いと向き合うためにお互いと地域社会を支え、助けを求めることに対する社会的な偏見をなくすことです」と述べ、「平和の推進」と「メンタルヘルスへの取り組み」を取り上げ、ロータリーがこれらの課題に積極的に取り組むことによって、「世界と自分自身の中に持続可能な変化を生む」ことを提唱しているのです。

5. そして、マッキナリー氏は、キーワードとなる「希望」について言及します。

まず、マッキナリー氏は、タイで出会った一人の女性の話を紹介します。2004年末に南アジアを襲った津波で夫、娘、息子を亡くし、家や生計手段も失った女性が、家や集会場、保育所、医療施設の建設をとおして地域社会を立て直すロータリーの活動を目の当たりにして、「生き続ける希望」を取り戻すことができたと言っており、大切にしていた美しい貝殻をゴードン氏にプレゼントしたというエピソードです。

マッキナリー氏は、「世界と自分自身の中に平和を築く」ための全てのロータリー活動の目標は、希望を取り戻す、希望を生み出すことにあると述べます。そして、「平和とは、希望が根づくための土壌である」と述べます。

「希望」こそが、ロータリーが、世界に、地域社会に、そして自分自身の中に持続可能な良い変化をもたらす方法だと結論づけます。

「ロータリーのビジョン」、「ロータリーの夢」、そして「希望」。マッキナリー氏のテーマ講演は見事にリンクし、完結しています。

お互いの正義がぶつかり合う、争いや戦争から生じる絶望と悲観に対する救済と平和への取り組みです。私たちが設定できる最も勇敢な目標は平和の追求なのだと述べました。

「今こそ、平和への願いを行動で示す時」と彼は言います。

私は、今年の春から少しずつではあるが、世界的な平和への取り組みを考え、ガバナー年度での平和プログラムの展開を考えてきました。ウクライナのロータリー代表のイリーナ・ブシュミナさんとの日本への新世代交換の取り組みで、彼女に広島での平和のためのライラに参加させ、神奈川の地区への親善大使役もお願いしています。彼女に日本での平和活動にゴードン会長の「平和」がどれだけインパクトがあるかと考えました。これを進めようと。また、ロータリーにウクライナまでの救援物資を運んでいるヨーロッパルートにアジアからのルートを開拓することを進めています。これを例えば、日本から台湾のロータリー代表へ台湾のロータリー代表からフィリピンのロータリー代表へ、シンガポール、タイ、インド、パキスタン、トルコとアジアからやがてヨーロッパルートへつながる救援物資のアクロードを提唱し、実践にもっていくことも確信が持てました。

次に、「環境の紙芝居」を昨年からの集大成にもっていき、そこで環境の大切さや平和への希求を盛り込み、地域の子供たちに、ロータリーが作った紙芝居を披露し、併せて、「ひまわりの種」を渡して（これはウクライナの国花）国際平和に貢献できる種を育てようと考えていたのですが、まさしくこれらすべてが今年度のゴードン会長が追求している「平和」にもつながるものだと勇気が出てきた感がありました。

6. もう一つは、心穏やかな生活を導く内面的な平和、すなわち「メンタルヘルス」の取り組みをこれからロータリーは重視していくべきだと訴えました。

Covid-19 や戦争、社会の分断と産業構造の大きな変化、これまでとは違うコミュニケーション方法やテクノロジーの進化は利点だけではなく、また高齢世代には家族の介護という、切なさや寂しさを感じたり、それにもかかわらず恩返しに追われる方々もいる。また、年代を問わず、老いはストレスを伴う。これらはすべて精神的な支えが必要だということです。

ロータリーに目を向ければ、「対人関係」や「形式」がもたらす恐縮と緊張、何の不安もない人などいないことは明白。クールで完成された善き人というペルソナ(仮面)に全身にまとい、悩みや弱さを曝け出せない人、助けを求められない人もいる。

私たちは常に内面に「何か」を抱えている。ここで協議会で最も印象的な言葉が出てくるのです。

「人をケアする私たちは、常に、まず自分自身をケアしなければならない」という短いフレーズがゴードン会長エレクトから出てきました。

ゴードン会長エレクトは、心身ともに健やかであるべきであり、助けを求められる環境を生み出し、手を差し伸べる勇気を持つようと呼びかけた。ライラの歩んできたカウンセラーシステムの展開が見えたような気がしました。

7. 最後に

継続がもたらすこれらの活動すべての目標は「希望」を取り戻すことだということです。

ロータリーは、平和、機会、生きる価値ある未来の土台を築いている。私たちが得意とすることを継続すると同時に、変化に対してオープンで前向きで、世界と自分自身の中に平和を築くことに力を注げば、ロータリーは平和で、より希望のある世界を導くことができるのではないかと彼は主張しました。

「平和の構築」と「メンタルヘルスの推進」は、そのままの形での事業を私たち地区やクラブに持ち込むのは、なかなかハードルが高いので、ゴードン会長の挨拶の中から、その想いのかけらを拾って、地区やクラブ、会員の方に引き寄せて身近に使わせてもらうとの視点でメモったものです。

- ・ 「継続の力」 ポリオ
- ・ 「継続と革新の理想的なバランス」
- ・ 「平和の推進」との関係で、平和とは、希望が根付くための土壌です」
- ・ 「平和の推進」との関係で、「世界と自分自身の中に平和を築く」
- ・ 「メンタルヘルスの取り組み」との関係で、
「ロータリーは、会員と奉仕を受ける人の双方を支える組織であるべき」
- ・ 「メンタルヘルスの取り組み」との関係で、
「メンタルヘルスの専門家なら誰もが口をそろえてこう言うでしょう。ほかの人を助けることで、本質的に自分自身が助けられるのだ、と」
- ・ 「対話することの重要性」その他の方々のスピーチについても、ギータさんの「ギビング・与えることは、生きる喜びに繋がる。それはメンタルヘルスを保つ上のメリットである」とか、フレディさんの「金継ぎが教えてくれることは、何物も永遠ではないこと、壊れてかけたパーツにも意味があること、キズは人生のストーリーである」(金継ぎとは壊れた茶碗などを金でつなぎ、それがまた芸術性を高める手法)

世界に希望を生み出そう

Create Hope In The World

この素晴らしい言葉に、私は今井鎮雄先生に誘われて、YMCA やロータリー会員になった当時、国際理事だった 1995 年(いろいろな意味での記憶に残る年度であった)RI ハーバード・ブラウンのテーマ

「Act With Integrity Serve With Love Work for Peace」

「真心の行動、慈愛の奉仕、平和に挺身」 を早い段階でテーマにしようと考えていました。

それは、今井が残した「紛争解決にはライラだよ」と彼が掲げていた理想の中にいつか紛争解決のプログラムがきっと日本でできると思っていたことが、よもやゴードン会長エレクトの話の中で「平

和」 について語られたことは縁というものだろうか。

まごころは、平和への招待状だと思う、世界への、自分への信託だと思う。

次年度の RI のテーマを心から歓迎し、まごころを添えて、愛をもって、すべて平和につながるよう取り組んでまいりたいと思います。

2023 年 1 月 14 日アトランタ機上にて

国際ロータリー第 2680 地区

ガバナーエレクト 安行英文

追記

ジョン・ヒューコ事務総長の講演(2023)の要旨

「パートナーシップの力」(2023年1月10日)の概略

- 1 相互依存と急速な変化を特徴とする今日の世界では、単独で何かをすることは、ほぼ不可能であり、パートナーシップが重要になる。それは、ビジネスの世界ばかりでなく、グローバルヘルス、災害対策、慈善などの分野でも同じである。
- 2 ロータリーの世界では、「ポリオ根絶」の取り組みの実績がパートナーシップの重要性を実感させてくれる。UNICEF(国連児童基金)、CDC(米国疾病対策センター)、WHO(世界保健機関)、そして各国政府やビルゲイツ財団などとのパートナーシップによって、ロータリーとそのパートナーは、個々が単独で成し得るよりもはるかに大きなインパクトを与えることに成功した。このパートナーシップを通じてポリオを根絶したら、ロータリーがもたらしたインパクトは、世界のレガシーとして残るものである。
ちなみに、WHOでポリオ根絶を指揮したザフロン氏は、ロータリーのポリオ根絶への取り組みについて、ロータリー会員は、「この闘いにおける道徳的権威であり、自ら参加し、リソースを捧げて主導している」と述べている。
- 3 パートナーシップが重要である最大の理由は、より大きなインパクトをもたらすことが可能になることにあるが、それは、世界レベルだけでなく、地域、地区、クラブレベルでも同様である。ロータリーが、クラブ、地区、地元団体や個人とのパートナーシップを通じて、より大きくて迅速なインパクトを地域にもたらすことが可能になることは、ロータリー財団の大規模プログラム補助金を利用したザンビアのマラリア撲滅プログラムパートナーシップやナイジェリアの母子健康改善パートナーシップ、さらには、イタリアの街ベルガモにおける新しい生体分子検査室設備プロジェクトパートナーシップなどの成功例に明らかである。
- 4 パートナーシップが重要である理由として、「より大きなインパクトをもたらすことが可能になる」ことその他、次の3つを指摘できる

会員増強①

パートナーとしてロータリーとともに活動した後に、ロータリーに魅了されロータリーに入会する人も少なくない。マラリア撲滅キャンペーンでパートナーとなったモザンビークのティアゴ保健大臣、WHOでポリオ根絶を指揮したザフロン氏などである。

そして、パートナーシップは、素晴らしい新会員をもたらすだけでなく、既存会員のやる気を引き出し、独自の才能が生かせるプロジェクトへの参加につながるなど、ロータリーの一員であり続ける活力を与えてくれる。

公共イメージの拡大と改善②

パートナーシップによる事業展開は、地域社会におけるロータリーの知名度を高め、会員増強のための着実なパイプラインにもなっている。

また、ソートリーダーシップ（テーマや社会問題などの特定の分野において、将来を先取りした革新的なアイデアや解決策をいち早く発見し示すことで、その分野における主導者となること）を広げることで、公共イメージが磨かれ改善される。

ファンドレイジング③（寄付者の基盤拡大）

パートナーシップによるプロジェクトは、大きなインパクトをもたらし、新会員の入会につながり、公共イメージを向上させ、ソートリーダーとしての存在を確立させるばかりか、外部団体の関心を引くことで寄付先としてロータリーに魅力を感じてもらうことができる。

寄付者の基盤拡大は、ロータリーが世界にさらに大きな変化をもたらすためのリソースの追加を意味する。

5 ゴードン・マッキナリー会長エレクトのテーマに関して

① 「平和の推進」に関しては、

ウクライナ災害救援基金への多額の寄付のほか、ウクライナとその隣国、そして世界各地でパートナーと協力している災害救済プロジェクトが数多く存在することを指摘できる。

また、RIとシカゴ地域のロータリアンは、地域社会が平和の推進と紛争解決のために取ることができる具体的な行動を促すために、シカゴ大学と協力して、ロータリーのリーダー、平和関係の奨学生、グローバルなリーダー、議員、学者が集まる講演シリーズを立ち上げた。このプロジェクトは、ロータリークラブが地域社会における積極的平和の取り組みに人びとを召集できる

（ソートリーダーになりうる）ことを示している。

② 「メンタルヘルスへの取り組み」に関しては、

ポーランドのワルシャワ・フレデリック・ショパン・ロータリークラブによるプロジェクトを紹介する。これはロータリークラブがパートナー団体と協力して、心理学者、教師、経営者であるウクライナ避難民を雇用し、戦争でトラウマになった子供たちにメンタルヘルスサービスを提供するものであり、適切なパートナーと協力すれば、達成できることの可能性が無限であることが分かる。

6 ガバナーエレクト 皆さまにお願いしたいこと

クラブや地区において、パートナーシップを奨励して欲しい。

他の団体と提携することで、より大きなインパクトをもたらし、会員基盤の成長と維持を図り、広報活動拡大し、改善し、寄付者の基盤を拡大できるからである。

そうすることで、人類が助けを必要とするときに手を差し伸べられる人たちがいる団体として、ロータリーがもっと世界に認められるようになる。ロータリーは、引き続き人類に持続可能な贈り物を与え、そのレガシーをさらに揺るぎないものにしよう。

- ① 私たちは、ポリオ根絶や環境保護など世界を助けるために全力を注いできた。希望や命を、それを最も必要とする地域社会にもたらしてきた。私たちは、自分たちが成し遂げたすべてのことを心から誇りに思う。

それと同じ活力を互いへのケアに使ったらどうなるか、想像（イマジン）してみてほしい。

自分を見てほしい、耳を傾けてほしいと思っている人がどれほどいるか。帰属感を得たいと思っている人がどれほどいるか。生活の中で「お元気ですか。本当にお元気ですか」と尋ねてもらいたいと感じている人がどれほどいるか。

私も、20代だったニュース番組のアンカーだったときに、突然、何が起きているのかさえ分からないほどのパニックに陥り、自分のメンタルヘルスは大丈夫かと考えてしまった経験がある。

- ② リーダーシップを発揮することが私たちロータリアンの任務だが、人びとに希望を与えるような親身なリーダーシップを体現できるかは私たち次第である。時に、人を導く最善の方法は、サポートする姿勢を示し、その人の可能性を最大限に手助けしてあげることである。

この点で、ゴードン・マッキナリー会長エレクトが、ロータリーでメンタルヘルスに新たな焦点を当てると宣言したことは素晴らしいことである。それは、「会員のための居心地の良さと配慮」というDEIにも通じるものである。

- ③ ただ、重要な活動は、実を結ぶのに何年もかかるものである。「自分がその下に座って安らぐことはない」と知りながら木を植える人には神の祝福がある」とのインドのことわざのように。

メンタルヘルスへの取り組みにしても女兒のエンパワメントにしても、DEIにしても、重要な活動は継続する必要がある。

- ④ ゴードン・マッキナリー会長エレクトが言う「希望」とは未来のことである。

ガバナーエレクトの皆さまは、希望を生み出すリーダーである。世界に希望を生み出し世界に光をともしてほしい。

ロータリー賞の目標と 達成方法に関する説明



ロータリー賞は、各年度に優れた取り組みを行ったクラブを表彰するものです。ロータリー賞の目標に向けた取り組みは、クラブで会員の参加を促し、地域社会におけるクラブの存在意義を保ち、効率的に運営するための一助となります。人びとを温かく迎え、その参加を促すクラブは、ロータリーの価値観を反映したクラブであると言えます。クラブがロータリー賞の目標に取り組むことで、ロータリーの力強さを保ち、次世代にとってふさわしい文化を育むことができます。

ロータリー賞の受賞資格を満たすには、クラブが正規に RI に加盟していることが条件となります。ロータリー賞の受賞資格である「正規に RI に加盟している」とは、RI からのクラブ請求書の金額を遅延なく全額支払ったクラブを意味します。クラブが RI 請求額を遅延なく支払っているかどうかは、My ROTARY の「クラブの運営」>「クラブの財務」の下にあるクラブの未納金残高（毎日更新）レポートでご確認ください。（このレポートで未納金残高が 0 ドルとなっている必要があります）。1 月中旬または 7 月中旬に請求書が閲覧可能となり次第、速やかにお支払いください。

ロータリークラブのリーダーは、ロータリー賞の達成を目指して、ロータリークラブ・セントラルにあるのの目標のうち少なくとも半分の目標を選ぶことができますこのような柔軟性により、クラブにとって最も重要で達成可能と思われる目標を選ぶことができます。さらに、目標の多くはロータリークラブ・セントラル内で「達成」に印をつける自己報告方式となります

ロータリー賞を達成するには以下を行う必要があります：

- ロータリークラブ・セントラルを開く
- 目標の内容を確認する
- その中から少なくとも半分の目標を選択する
- 選んだ目標を達成する
- 6 月 30 日までにロータリークラブ・セントラルで達成を報告する

2023 年 2 月

ロータリー賞の目標と 達成方法に関する説明



ロータリークラブ・セントラルを開いたら、「目標設定・確認センター」をクリックし、年度を選び、「すべて」をクリックしてください。

目標	目標の詳細
会員増強	ロータリー年度末までに達成したいクラブ会員総数
会員と参加促進	会員とその他の参加者のニーズがクラブ細則に反映されている ¹
奉仕活動への参加	本ロータリー年度にクラブの奉仕活動に参加する会員の数
新会員の推薦	本ロータリー年度に新会員を推薦する現会員の数
ロータリー行動グループへの参加	本ロータリー年度に少なくとも1つのロータリー行動グループのメンバーとなっている会員の数
リーダーシップ育成への参加	本ロータリー年度にリーダーシップ養成プログラム／活動に参加する会員の数
地区大会への参加	地区大会に出席する会員の数
ロータリー親睦活動グループへの参加	本ロータリー年度にロータリー親睦活動グループのメンバーとなっている会員の数
地区研修への参加	地区で行われる研修／セミナー／協議会などに出席するクラブ委員会委員長の数
年次基金への寄付	本ロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団年次基金への寄付総額
ポリオプラス基金への寄付	本ロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団ポリオプラス基金への寄付総額
大口寄付	本ロータリー年度に寄せられる一括10,000ドル以上の寄付の件数

¹2023-24 ロータリー年度からの新たな目標

ロータリー賞の目標と 達成方法に関する説明



目標	目標の詳細
遺贈友の会会員	遺産計画を通じてロータリー財団に 10,000 ドル以上の寄付を誓約することを、初めて本ロータリー年度にロータリー財団に通知する個人・夫婦の数
ベネファクター	遺言またはそのほかの遺産計画に財団恒久基金を指定して寄付することをロータリー財団に通知または恒久基金に 1,000 ドル以上を寄付して、新たにベネファクターとなる個人・夫婦の数
奉仕プロジェクト	本ロータリー年度にクラブが実施する奉仕プロジェクトの数
ローターアクトクラブ	本ロータリー年度にクラブがスポンサーする新ローターアクトクラブと既存ローターアクトクラブの数
インターアクトクラブ	本ロータリー年度にクラブがスポンサーする新インターアクトクラブと既存インターアクトクラブの数
来訪する青少年交換学生	本ロータリー年度にバーチャルまたは対面形式でクラブが受け入れる青少年交換学生の数
派遣する青少年交換学生	本ロータリー年度にバーチャルまたは対面形式でクラブが派遣する青少年交換学生の数
RYLA 参加者	本ロータリー年度に直接対面式またはバーチャル形式でクラブが支援する RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）参加者の数
クラブ戦略計画	クラブにはクラブ独自の戦略計画（長期計画）があるか
インターネット上の存在感	インターネット上にあるクラブの情報は現在の活動を正確に反映しているか
親睦のための活動	本ロータリー年度、例会以外に親睦を目的としてクラブが実施した活動の回数

2023 年 2 月

ロータリー賞の目標と 達成方法に関する説明



目標	目標の詳細
ウェブサイトとソーシャルメディアの更新	本ロータリー年度中、クラブのウェブサイトとソーシャルメディアアカウントを月に何回更新するか
クラブのプロジェクトのメディア掲載	本ロータリー年度にクラブのプロジェクトを取り上げるメディア記事の数
ロータリー作成の公式推進用資料の使用	本ロータリー年度に地域社会でロータリーを紹介するために、国際ロータリーから提供される広告と公共奉仕資料（ブランドリソースセンターから入手可能な放送用ビデオ、印刷広告、その他の公式資料）使用した回数

2023年2月